

平成25年度決算高森町の財務諸表を公表します

(平成25年4月～平成26年3月)

財務諸表の公表について

それは、とある自治体の財政破綻がきっかけでした。これまでの地方公共団体の会計制度は、その年にどんな収入があり、どのように使ったかというような現金の動きがわかりやすい会計方法、いわゆる「単式簿記」(現金主義)でした。自治体の資産などの情報や、住民に対する行政サービスのコスト情報が判

そこで国は先の自治体の財政破綻を受け、平成十八年八月に「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」を出し、「新地方公会計制度」が設けられました。このことにより民間企業会計的な手法で、普通会計や連結ベースで作成し、いわゆる「複式簿記」(発生主義)にしました。

これが現在の「財務諸表」です。

これによって今までの決算書等では判りにくかった資産・債務情報や行政サービスの提供にかかるコスト、住民の負担などを明らかにしていきます。※財務諸表の作成方式には「**総務省方式改訂モデル**」と「**基準モデル**」の2種類があります。全体の約8割の自治体が「**総務省方式改訂モデル**」を作っています。高森町では、「**総務省方式改訂モデル**」を採用しています。

財務諸表とは？

「貸借対照表」

(財源の調運源)
資産や負債の状況を表すもの
左側に「資産」、右側に「負債」と「純資産」が記載され、左右が一致することから「バランス・シート」と呼ばれている。

「行政コスト計算書」

(利益と損失)
行政サービスを行う上でかかったコストを表すもの
主に人件費や物にかかるコストを表す。
公共施設使用にあたって徴収した使用料など、町の収入もここに表示される。

「純資産変動計算書」

(純資産の増減)
純資産の一年間の変動内容を表すもの
純資産とは、国や県の負担、これまでの世代が負担してきた財産

「資金収支計算書」

(お金の流れ)
資金収支の状況を性質別に3つの区分に表示するもの
資金収支とは、資金の増加または減少を意味し、「行政活動」「投資活動」「財務活動」それぞれの資金調達方法、及び使途を明らかにしたものです。

以上の4つを総称して、
一般に**財務諸表**といわれます。



第3セクターって？

→ 国や地方公共団体と民間の共同出資による事業体のことです。

基準モデルってなに？

→ 企業会計をもとに地方公共団体の特殊性を加えて考案された厳密な方式です。

連結ベースって？

→ 普通会計に加え、自治体を構成するその他の特別会計（国民健康保険事業、公共下水道事業など）や、自治体と連携協力して行政サービスを実施している関係団体などの決算をひとまとまりにしたものです。

そもそも「財務諸表」とは？

→ 民間企業における会計の考え方（複式簿記）で作成される決算に関する書類のことです。

コストって？

→ 何かを生産するのにかかった費用、経費のことです。

経常収益って？

→ 企業（ここでは自治体）の通常の経営活動により、継続的に発生する収益（利益）です。

総務省方式改訂モデルってなに？

→ 既存の地方財政状況調査（決算統計）の情報を活用して作成する方式です。

資産って？

→ 財産のことです。
ここでは高森町の町民の財産を表します。

普通会計って？

→ 地方公共団体の会計で、一般会計と、公営事業会計を除く特別会計を合算したものです。

債務って？

→ 特定の人が一定の提供（給付）をしなければならぬ義務。
借金した人が貸した側に対して生じた支払い義務のことです。



